

新報

島根県教育庁
隠岐教育事務所
隠岐の島町港町塩口24
電話2-9772

一学期の学校訪問を終えて

隠岐教育事務所では、

『隠岐の宝 子供たちの夢が叶えられるように』
○学校訪問や教職員との対話を通して、「今の子供たちにとって大切なことは何か」ということを大事に捉える。
○学校の主体的・自主的な取り組みを応援する。
○県教委等・各町村教委と連携した迅速な対応を図る。

を基本姿勢とし、令和四年度の「学校等支援計画」を策定しております。授業づくりについては、次の二点を柱として、学校の教育活動を支援して参ります。

☆研究主任等の推進役を担う担当者への支援

研究主任と連携し、授業づくり等、各学校でのOJTが充実するよう働きかけます。また、年二回の研究主任会では、研究主任の情報交換と共有を主な目的とし、研究主任同士が校種を超えて繋がることにより、校内研究の活性化を図りたいと考えています。

授業づくりについては、先生方のニーズに応じた個別の支援も行っております。事前に授業者との連絡を密に取り、単元計画や指導案づくりの段階から授業について考えていきます。

☆学校・教育団体等への支援

教育指導課及び島根県教育センター等の指導主事とも連携し、学校だけでなく隠岐郡教育研究会等教育団体への支

援も行っております。教育団体や個人のニーズに応じた支援を行いますのでお声がけください。

詳細につきましては、「令和四年度小・中学校等学校支援計画」をご覧ください。各学校及び教育団体の研究計画やOJTの内容にあわせてご利用ください。

一学期たくさんの学校から訪問申請をいただきました。

一学期の学校訪問を振り返り、印象深かった事例をいくつか紹介します。

○学校図書館を有効に活用し、学校司書と連携しながら子供たちが必要な図書資料を選択できるような支援したり、活用したりできるように取り組む先生の姿。

○子供の個人思考を大切に、自分の考えをしっかりともたせる先生の姿。

○ペア学習やグループ学習を通して自分の考えや友達のを共有しながら、自ら課題を解決させるよう支援する先生

の姿。

○授業のねらいを達成するために、タブレット端末等を積極的に授業に取り入れ、効果的にICT機器を活用している先生の姿。

○ICTについて学んだことを、即実践で活用する意欲的で行動力のある先生の姿。

○ねらいを明確に示し、それを達成するためにどんな活動をするのか、どんな力をつければよいのか児童から引き出す先生の姿。

○子供同士の関わりを大切に、子供に任せる時間を設定し、対話を重視した学習を目指す先生の姿。

○指導案検討会では、全ての教員が自分事として目指す子供の姿や指導について熱く語り、公開授業後も今後の指導に活かすことができるよう授業の核について熱心に意見交換する先生の姿。

学校訪問を通して、改めて先生方の指導に対する熱意や子供たちへの愛情の深さを感

じました。二学期以降も少しでもお役に立てるよう、よりよい支援ができるようにしていきたいと思えます。一学期大変お世話になりました。ありがとうございました。

(文責 濱田)

よろしくお願ひします

この四月に食肉衛生検査所から異動してきました。

教職員の皆様方には「食肉衛生検査所??？」という感じでしょうか。

食肉衛生検査所は、私と会計年度任用職員の事務補助の方一名を除くと残り全員が獣医師でした。事務方として所内事務の大半を担っており、一人職場という点では学校事務職の皆さんと同じではないでしょうか。一通りの業務はわかっているものの、所内には相談する相手がいなかったため一人職場の不安や大変さは理解できます。

教育事務所勤務は二度目

あり、現在は総務課において四名の職員とともに業務に取り組んでいます。旅費や手当関係など経験のある業務については、当時のことを思い出しつつ行っています。疑義のある案件など一緒に考えることができ、仲間がいるということとはとても心強いものです。一方で初めての業務もあり、手探りでやっているというのも正直なところです。

総務課長というこれまでとは異なる立場ですが、気軽に相談し合い課内の職員とともに成長できればと思っています。また、少しでも事務職員の皆さんの助けになれるよう頼れる事務所にしていければと思いますのでよろしくお願ひします。

(文責 柳楽)

